

## 2022年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月4日

東

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所  
 コード番号 3698 URL <https://www.cri-mw.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押見 正雄  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 克己 (TEL) 03-6823-6853  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年9月期第3四半期の連結業績(2021年10月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第3四半期	1,965	△7.2	7	△96.8	37	△86.3	△17	—
2021年9月期第3四半期	2,118	44.4	229	21.7	276	41.2	160	△16.2

(注) 包括利益 2022年9月期第3四半期 58百万円(△68%) 2021年9月期第3四半期 183百万円(△3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第3四半期	△3.21	—
2021年9月期第3四半期	29.49	29.34

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第3四半期	5,386	3,910	71.9
2021年9月期	5,532	3,961	71.1

(参考) 自己資本 2022年9月期第3四半期 3,874百万円 2021年9月期 3,932百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2022年9月期	—	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年9月期期末配当金の内訳 記念配当 20円00銭

## 3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,750	△4.9	75	△73.6	100	△70.2	30	△85.0	5.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年9月期3Q	5,578,150株	2021年9月期	5,578,150株
② 期末自己株式数	2022年9月期3Q	121,377株	2021年9月期	121,315株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年9月期3Q	5,456,797株	2021年9月期3Q	5,435,547株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の要因に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格上昇の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、企業収益は全体として高水準で推移し、業況感は横ばいとなっており、基調としては持ち直しております。

当社グループを取り巻く事業環境については、新型コロナウイルス感染症の影響によりライフスタイルが大きく変容し、ビデオチャットなどオンラインコミュニケーションツールが爆発的に普及しております。また、バーチャルイベントやライブ配信も増加し、メタバースと呼ばれる仮想空間が注目を集めるなど、音声・映像を活用したオンラインサービスは新しい潮流が生まれてきております。

これらの状況下、当社グループは、リアルタイムコミュニケーションプラットフォーム「CRI TeleXus（シーアールアイ テレックス）」の開発を行うとともに、今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備し、事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,965,705千円（前年同期比7.2%減）、営業利益7,307千円（前年同期比96.8%減）、経常利益37,992千円（前年同期比86.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失17,518千円（前年同期は160,318千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント毎の経営成績は、次のとおりであります。

#### ① ゲーム事業

当社製ミドルウェア「CRIWARE（シーアールアイウェア）」等のライセンス売上は、第1四半期において大手顧客からの一括ライセンス契約の受注があったものの、国内スマートフォン向けF2P売上減により、全体としては横ばいとなりました。また、海外向けは、中国ゲーム規制や上海ロックダウンなどの逆風のなか、中国で一括ライセンス契約を受注し、横ばいで着地いたしました。株式会社ツーフাইブが行う音響制作は、当第3四半期で大型案件を受注したことにより、増加いたしました。株式会社アールフォース・エンターテインメントが行うゲーム開発/運営は、新規案件の獲得は成ったものの、運営中の大型アプリの収入減が継続し、減少いたしました。当セグメントの売上高は1,525,332千円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は97,554千円（前年同期比59.9%減）となりました。

#### ② エンタープライズ事業

組込み分野は、モビリティにおいて、メーターサウンド関連のライセンス売上やメーターGUI関連の開発案件が好調に推移したものの、ネットワーク組込みシステム開発の大規模フェーズ終了に代わる受注獲得ができず、減少いたしました。新規分野は、Web画像軽量化ソリューションが堅調に推移したものの、前期第1四半期にあったデジタル展示会プラットフォーム「CRI DXExpo（シーアールアイ ディーエックスエキスポ）」の大口売上がなくなった影響が大きく、横ばいとなりました。当セグメントの売上高は440,372千円（前年同期比11.5%減）、セグメント損失は90,246千円（前年同期は14,068千円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて145,511千円減少し、5,386,801千円となりました。これは主に、「現金及び預金」の減少（前連結会計年度末に比べて552,284千円の減少）及び「売掛金及び契約資産」の減少（前連結会計年度末に比べて110,114千円の減少）があった一方、「その他流動資産」の増加（前連結会計年度末に比べて54,234千円の増加）及び「有形固定資産」の増加（前連結会計年度末に比べて94,031千円の増加）及び「ソフトウェア」の増加（前連結会計年度末に比べて205,439千円の増加）並びに「投資有価証券」の増加（前連結会計年度末に比べて147,650千円の増加）によるものであります。

#### ② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて94,289千円減少し、1,476,293千円となりました。これは主に、「買掛金」の増加（前連結会計年度末に比べて26,979千円の増加）があった一方、「未払法人税等」の減少（前連結会計年度末に比べて63,786千円の減少）及び「賞与引当金」の減少（前連結会計年度末に比べて11,220千円の減少）並びに「その他流動負債」の減少（前連結会計年度末に比べて41,922千円の減少）によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて51,222千円減少し、3,910,507千円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純損失」の計上及び配当金の支払いによる「利益剰余金」の減少（前連結会計年度末に比べて126,655千円の減少）があった一方、「その他有価証券評価差額金」の増加（前連結会計年度末に比べて49,480千円の増加）及び「為替換算調整勘定」の増加（前連結会計年度末に比べて19,432千円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、2021年11月11日に公表しました2022年9月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日別途開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,891,477	3,339,193
売掛金及び契約資産	518,960	408,846
商品	4,040	4,160
仕掛品	8,908	31,089
その他	105,068	159,303
貸倒引当金	△492	△52
流動資産合計	4,527,963	3,942,540
固定資産		
有形固定資産		
建物	49,217	128,583
減価償却累計額	△24,040	△11,746
建物(純額)	25,176	116,836
工具、器具及び備品	82,033	123,414
減価償却累計額	△62,786	△60,956
工具、器具及び備品(純額)	19,247	62,457
建設仮勘定	40,839	—
有形固定資産合計	85,263	179,294
無形固定資産		
ソフトウェア	261,398	466,837
のれん	20,507	15,519
その他	971	—
無形固定資産合計	282,877	482,356
投資その他の資産		
投資有価証券	365,688	513,339
繰延税金資産	60,696	54,264
その他	209,822	215,005
投資その他の資産合計	636,207	782,608
固定資産合計	1,004,348	1,444,260
資産合計	5,532,311	5,386,801

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	59,748	86,727
未払法人税等	63,786	—
賞与引当金	11,220	—
その他	249,523	207,601
流動負債合計	384,279	294,329
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,000,000	1,000,000
退職給付に係る負債	120,905	127,086
役員退職慰労引当金	61,883	51,363
繰延税金負債	3,513	3,513
固定負債合計	1,186,302	1,181,963
負債合計	1,570,582	1,476,293
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	784,904	784,904
資本剰余金	825,290	825,290
利益剰余金	2,482,532	2,355,877
自己株式	△167,943	△168,031
株主資本合計	3,924,783	3,798,040
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,100	57,580
為替換算調整勘定	△773	18,658
その他の包括利益累計額合計	7,326	76,238
新株予約権	11,052	10,842
非支配株主持分	18,566	25,385
純資産合計	3,961,729	3,910,507
負債純資産合計	5,532,311	5,386,801

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,118,034	1,965,705
売上原価	1,016,031	1,027,932
売上総利益	1,102,002	937,772
販売費及び一般管理費	872,697	930,464
営業利益	229,305	7,307
営業外収益		
受取利息	1,502	1,187
受取配当金	7,327	7,955
為替差益	168	21,383
その他	44,130	6,486
営業外収益合計	53,129	37,012
営業外費用		
事務所移転費用	—	5,935
社債発行費	5,821	—
その他	46	392
営業外費用合計	5,867	6,327
経常利益	276,567	37,992
特別損失		
固定資産圧縮損	30,971	—
固定資産除却損	—	20,319
減損損失	13,753	—
特別損失合計	44,725	20,319
税金等調整前四半期純利益	231,842	17,673
法人税、住民税及び事業税	71,657	26,851
法人税等調整額	△6,871	6,431
法人税等合計	64,785	33,283
四半期純利益又は四半期純損失(△)	167,056	△15,610
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,738	1,908
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	160,318	△17,518

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	167,056	△15,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,625	49,480
為替換算調整勘定	6,423	24,342
その他の包括利益合計	16,049	73,822
四半期包括利益	183,106	58,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175,244	51,393
非支配株主に係る四半期包括利益	7,861	6,818

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当金 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年11月11日 取締役会	普通株式	109,136	20	2021年9月30日	2021年12月2日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額20円は、設立20周年記念配当であります。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。「以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高及び当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「売掛金」は、前連結会計年度及び第1四半期連結会計期間より「売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,620,236	497,797	2,118,034	2,118,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,620,236	497,797	2,118,034	2,118,034
セグメント利益又は損失(△)	243,373	△14,068	229,305	229,305

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	ゲーム事業	エンター プライズ事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,525,332	440,372	1,965,705	1,965,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,525,332	440,372	1,965,705	1,965,705
セグメント利益又は損失(△)	97,554	△90,246	7,307	7,307

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、報告セグメントの利益又は損益の算定方法を同様に変更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損益の金額に対する影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	29円49銭	△3円21銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)(千円)	160,318	△17,518
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)(千円)	160,318	△17,518
普通株式の期中平均株式数(株)	5,435,547	5,456,797
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	29円34銭	—
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	28,084	—
(うち転換社債(株))	—	—
(うち新株予約権(株))	28,084	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。